

# あっぱれ 優拍手に

## 小学校

■少年少女レスリング東京選手権大会  
2位 小学5～6年の部 54kg級  
山倉孝介(久賀小)  
■豊栄フレンドリーカップ(ミニバスケット)  
優秀選手賞 鈴木聖士 前原倫乃(多古MBC)

## 中学校

■香取小中学校体育連盟優秀選手表彰  
【陸上】飯塚建宏 齋藤準  
宇井将晃 清野涼々花  
【ソフトテニス】安西達也 波多野優樹  
【バスケットボール】石井克  
【ソフトボール】並木日向  
■県吹奏楽個人コンクール東部地区大会  
金賞(最優秀賞) マリンバ 高橋咲帆 県コンクール出場  
金賞 マリンバ 戸村藍  
銀賞 ユーフォニウム 萩原穂乃華

## 一般

■絵になるまち佐原絵画コンクール  
佳作 白石勝之 佐藤美津江  
■優秀教員文部科学大臣表彰  
【部活動】澁谷義範(市立銚子高)  
【保健体育】木内史紀(多古中)  
【学習指導】根本滋之(多古第一小)

## 地域の力が多古高校を変える

1月24日、多古高校で『コミュニティ・スクール講演会』が行われました。地域と保護者の方々に、コミュニティ・スクールについて理解を深めてもらうことを目的に開催。講師には国立教育研究所の屋敷和佳総括研究官を招き「町に高校があることの意味や、これからの高校には地域の協力と連携が必要となってくる、学校おこしは町おこしである」など、参加者が今後の多古高校を考える講演会となりました。



## 思い出に残る作品

1月29日、久賀幼稚園の家庭教育学級で、園児21人と保護者が陶芸を行いました。陶芸家で講師の曾我登さん(大門)が、お手本でカップを作ると、その巧みな早業に参加者は驚きの声を上げました。親子のふれあいを目的に一緒に作った陶芸品は、創造性が豊かで個性的な形の皿やカップ、茶碗などが出来上がり、卒園記念として心に残る作品が完成しました。



## ボールの格闘技?!

1月5日久賀小学校で『ドッジボール大会』が開催され、町内の小学生7チームが低学年の部・高学年の部に分かれて白熱した試合を繰り広げていました。子どもたちは試合が始まると、コートを行き交うボールを真剣な表情で見つめ、仲間同士で声を掛け合いながら最後までボールを追いかけていました。

大会の結果は次のとおりです。入賞された皆さん、おめでとうございます。

### 【大会結果】

- 低学年の部  
優勝 ゆうしょうドラゴン(中村小)  
2位 ワイルド久賀(久賀小)
- 高学年の部  
優勝 多古JBC  
(多古第一小・第二小・久賀小)  
2位 アルポール(中村小)  
〃 常磐ゴールデンボンバー's(常磐小)



低学年の部優勝「ゆうしょうドラゴン」



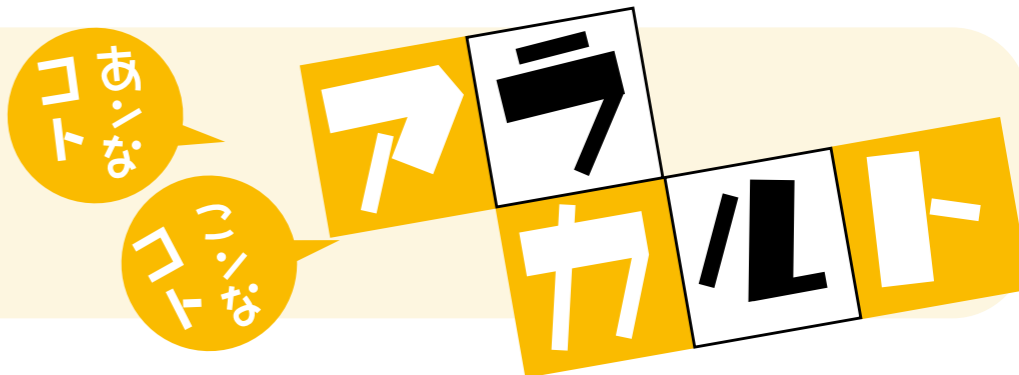
高学年の部優勝「多古JBC」

## うどん作りに挑戦

1月27日に保健推進委員会の主催により『第2回男性のための料理教室』が開催され、手打ちうどんにチャレンジしました。皆さんは多古産の小麦粉を使用し、力を込めて打つ麺と、かつお節からダシをとるつゆを、講師の鈴木隆弘さん(浪花屋食堂)のわかりやすい指導の中、一つひとつ丁寧に仕上げていました。完成したうどんを食べながら皆さんは「大変だった分、おいしく感じる。家族にも作って食べてもらいたい」と話していました。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。  
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。  
〒289-2292  
多古町役場総務課広報係 ☎76-2611



## 地図を頼りに冒険中

1月19日に常磐地区を舞台に『ウォークラリー大会』が開催され、子どもの部16チーム、ファミリーの部9チームの総勢140人が参加しました。約10キロの道のりを交差点や建物などの目印が書かれた「コマ図」を頼りにゴールを目指します。ウォークラリーは速さを競うのではなく、決められた設定タイムを予想し、そのタイムにもっとも近い時間でゴールしたチームが優勝となります。

コース途中のチェックポイントでは、受付時に配られる問題の解答を探したり、観察ゾーンの松崎神社や星宮神社では、周囲を見渡し気づいたことをメモしたり、チーム全員が知恵を出し合っていました。また、コース中間地点の川島集会所ではあつあつのミネストローネが用意され、寒い中歩いていた皆さんにはうれしいご褒美となりました。

途中寄り道したり道に迷いながらも、友だちや家族がチーム一丸となり、ゴールを目指した思い出に残る1日となりました。

【結果】子どもの部 優勝 アルポール  
ファミリーの部 優勝 レインボー



みんなで仲良く相談中



おいしい! ミネストローネ



ゴール目指して歩く!

## 空港東側地域戦略シンポジウム

1月17日、コミュニティプラザで『成田国際空港東側地域の今後の発展を考える』と題してシンポジウムが開催されました。講師に筑波大学教授の石田東生氏を招き、空港と空港周辺地域のあり方について、グローバル化と航空・空港戦略や将来人口増加と経済成長が期待されているアジア圏との関係の重要性について講演いただきました。成田空港をヒトとモノを動かす巨大経済拠点ととらえ、地域とともに発展するにはアクセス向上など魅力ある空港と地域づくりが必要だと話されました。

また町長と3名の有識者によるパネルディスカッションでは、格安航空会社(LCC)が就航したことや、海外の日本食ブームを活用し、空港周辺地域の農産物を海外に宅配サービスすることも可能ではないかなど、さまざまな意見があげられました。町では空港東側の飛躍拠点となるために『成田国際空港東側地域戦略構想』を策定し、今後はその構想に基づいて施策を展開する予定です。



第1部の基調講演



第2部のパネルディスカッション